

## 会員の皆様

平素は日本言語聴覚士協会 医療保険部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます

この度、医療保険部では平成26年度診療報酬改定に伴う実態調査を行うこととなりました。また、今回の結果をもとに、平成28年度診療報酬改定に向けて要望を提出していきたいと考えております。1施設でも多くの皆様のご意見をいただけますよう、ご協力ほど、よろしくお願ひいたします。

### <本調査の目的>

運動器リハや呼吸器リハの対象者への対応、摂食機能療法の対象など、言語聴覚士が直面している問題は多いです。実際に対象者はいるのに、診療報酬体制から取り組む事ができないということも生じているのが現実です。この問題を解消するには、現在の実態を厚生労働省にデータとして示していくことが必須となります。

現在は200弱の施設の方に登録いただいておりますが、厚生労働省へ実態を伝えるためには、最低500施設以上の方からのご意見が必要となります。各県から10施設ずつご協力いただければ470施設となります。1施設でも多くの皆様からの意見を取りまとめ、実態に即した診療報酬体制につなげられるよう要望を提出していきたいと考えております。そのためには、実態を表すデータが必須となります。皆様の実情を伝えていくためにも、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

調査シートにつきましては、日本言語聴覚士協会ホームページよりダウンロードしてご利用ください。なお、返信はメールでお願いいたします。詳細はホームページにてご確認下さい。

皆様におかれましては、大変お忙しい中お手数をお掛けしてしまい申し訳ございませんが、何卒よろしくお願ひいたします。

平成26年11月吉日  
一般社団法人日本言語聴覚士協会  
医療保険部：高野麻美、内山量史